

石橋文化センター・久留米市美術館 事業協賛のご案内



石橋文化センターは、1956年（昭和31年）に株式会社ブリヂストンの創業者、石橋正二郎氏により郷土久留米市に建設寄贈された総合文化施設です。石橋文化センターの中核施設として開館した石橋美術館は、2016年10月に運営を久留米市に移行し「久留米市美術館」へと生まれ変わりました。公益財団法人久留米文化振興会は久留米市美術館の管理運営を担う指定管理者として、展覧会の開催や教育普及事業、施設の維持管理等を行っており、新たな美術館の基本方針である「とき・ひと・美をむすぶ美術館」の具現化を推進します。また、石橋文化ホールでの鑑賞事業や庭園を活用した事業等、美術、音楽に留まらない幅広い事業を実施しており、美術館事業と園内イベントとの連携や、園内を市民の創作活動や芸術体験の場にするなど、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた活動を展開してまいります。新たな「楽しみと幸福の時間^{しあわせ}」を創出する当財団の事業にご理解いただき、ぜひご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人久留米文化振興会



石橋文化センター・久留米市美術館 事業協賛制度について

1. 協賛の目的

1) 新たにスタートした久留米市美術館と石橋文化センター事業等への支援

久留米市美術館を核に、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた活動を推進し、市民が気軽に文化芸術に触れ、若い世代の育成に繋がる事業の充実を図ります。石橋文化センターの特性を生かしながら新たな魅力を発信し、久留米市の文化芸術の拠点としてより一層の強化を図るため、ご支援をお願いするものです。

①石橋文化センターミュージアム化事業の推進

- ・子どもとアーティストによるアート創造プロジェクト
 - ・大学生等の若手アーティストの創作活動支援プロジェクト
 - ・市民創作体験プロジェクト
 - ・アートフェスティバル
 - ・ミュージアムクリスマス
 - ・ミュージアムバレンタイン
- * 2016年度実績より



②園内の花イベントの充実と環境整備

- ・バラフェア(春・秋)
 - ・あじさい・はなしょうぶまつり
 - ・梅まつり
 - ・つばきまつり
 - ・SAKURAまつり
- * 上記の花イベントの充実のための花壇整備等



③ブランディングの推進

- ・石橋文化センターをひとつのブランドとしたロゴマークの積極活用やサイン等の整備



石橋文化センター
ISHIKASHI CULTURAL CENTER

2) 石橋文化センター入園者数及び久留米市美術館入館者数の拡大

より多くの人に気軽に石橋文化センターや久留米市美術館に足を運んでもらえるよう、多分野、多世代にわたる来館・来園者の裾野の拡大をはかります。久留米市美術館や石橋正二郎記念館を学校教育や企業教育の場として活用いただく他、リピーターとなるファン層の拡充を目指します。

2. 協賛メニュー

協賛メニュー	対象
(Ⅰ) 一般協賛 *1口3万円	法人(企業、団体等)及び個人
(Ⅱ) オフィシャルパートナー(各コース有)	法人(企業、団体等)
(Ⅲ) キャンパスパートナー	学校法人

3. 協賛期間

4月1日～翌年3月31日(1年間)